

横須賀市、進む傾斜地対策の紹介!

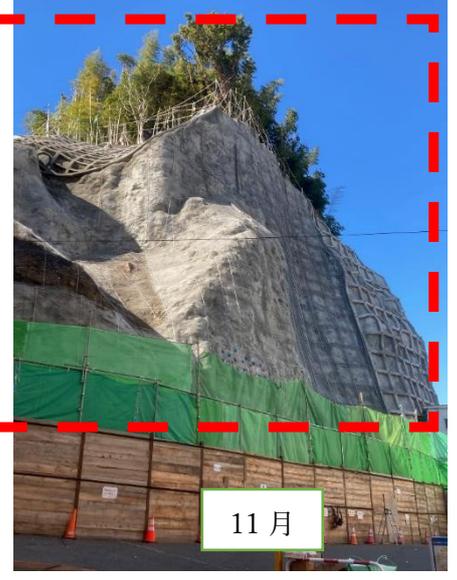
三浦半島地域は急傾斜地が多く、近年もがけ崩れが起きています。今年度も政策・制度要求と提言で『三浦半島地域における崖崩れが近年多発している状況を踏まえ、土砂災害警戒区域・同特別区域の対策工事を国・県と連携し取り組むこと。取り組みにあたっては、民間業者とも連携しIT技術を活用した崩壊予兆を取り入れるなど、住民の安心・安全につなげる予防措置にも取り組むこと。』を訴えかけています。

この提案を三浦半島4市1町の自治体は真摯に受け止めて、徐々に対策を進めてくれています。

今回は横須賀市で進む急傾斜地対策を紹介します。

今回の工事区間は京急の汐入駅から横須賀中央駅までの間にそびえたつ大きながけ地になっています。横須賀中央駅裏にあります、セントラルホテル駐車場の急傾斜地、過去にもがけ崩れが起きていますが、その最終工事が進められています。金網のみの対策（9月）だったものをまずは石膏（10月）でかためて、1週間後くらいに法面对策（11月）をしていきます。

●セントラルホテルの裏口駐車場わきから見た写真になります。30mを超える崖です。

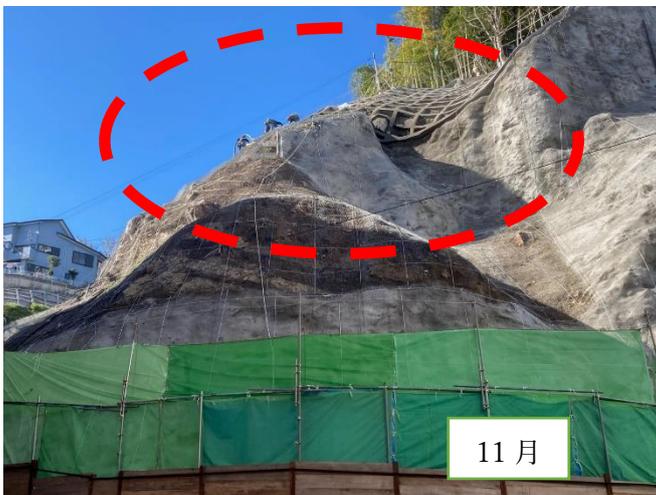


●正面から見ると手前には商店街MIKASAがあり、非常に危険に箇所になります。



側面部から見た比較的低い崖の部分の写真になります。法面对策が進んでいます。年内にはほぼ完成すると思います。

金網のみの対策（9月）だったものをまずは石膏（10月）でかためて、1週間後くらいに法面对策（11月）していきます。



三浦半島地域連合は今後も政策・制度要求と提言を通じて市民・組合員が安心して暮らせる街づくりを目指して、今後も粘り強く活動を進めて行きます。

